

エスカレーターの利用に関する実地調査結果

エスカレーターの利用状況及び利用時のつまずき等の発生状況を把握するため、都内の駅、商業施設に設置されているエスカレーター21台において、延べ162時間の観測調査を行った。その結果、121538人の利用者と、185人のつまずき、ふらつき、立ち止まり、衝突等の発生を観測した（つまずき等の発生率：約0.2%）。観測結果の概要は、以下のとおり。

● 利用状況

・利用者数

	駅	商業施設
施設区分	商業施設と比べると、「時間当たりの利用者数」が多い	駅と比べると、「高齢者」と「未就学児」の利用割合が高い
時間帯	最も多い：7～9時（通勤・通学の時間帯） 次に多い：17～19時（帰宅の時間帯） ※高齢者は「11～13時、14～15時、17～18時」が多い	突出して利用者数が多い時間帯はない

・歩行者率（歩行等の有無）

	駅	商業施設
施設区分	歩行者率が高い（約28%） ※未就学児と高齢者の歩行者率は比較的低い（未就学児：約11%、高齢者：約16%）	歩行者率が低い（約5%） ※いずれの年代でも歩行者率は低い（約3～5%）
時間帯	最も高い：7～9時（約44～46%） 次に高い：17～19時（約26～27%）	突出して歩行者率が高い時間帯はない

● つまずき等の発生状況

・つまずき等の発生率

推定年代	<ul style="list-style-type: none"> 一般（6～64歳）と比べると、「高齢者」と「未就学児」は、発生率が高い（一般：約0.1%、高齢者：約0.4%、未就学児：約1.1%） 																																		
時間帯	<ul style="list-style-type: none"> 駅において利用者数が多く歩行者率が高かった時間帯（7～9時、17～19時）のつまずき等の発生率は低い（約0.0～0.2%） ※最も高い時間帯：22～24時（約0.5～0.9%） 最も低い時間帯：7～9時（約0.0%） 高齢者に限ると、「11～12時、13～15時、17～18時」の発生率が高く（約0.4～0.6%）、駅及び商業施設において高齢者の利用者が多かった時間帯と概ね一致 	<p>時間帯別 つまずき等の発生率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>全年代</th> <th>時間</th> <th>65歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0.0%</td><td>7-8時</td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>0.0%</td><td>8-9時</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>0.2%</td><td>11-12時</td><td>0.6%</td></tr> <tr><td>0.2%</td><td>12-13時</td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>0.1%</td><td>13-14時</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>0.1%</td><td>14-15時</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>0.2%</td><td>17-18時</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>0.1%</td><td>18-19時</td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>0.5%</td><td>22-23時</td><td>※1.2%</td></tr> <tr><td>0.9%</td><td>23-24時</td><td>0.0%</td></tr> </tbody> </table> <p>※高齢者の22時台は観測者数が少なく発生率が高く出た可能性がある</p>	全年代	時間	65歳以上	0.0%	7-8時	0.3%	0.0%	8-9時	0.0%	0.2%	11-12時	0.6%	0.2%	12-13時	0.3%	0.1%	13-14時	0.4%	0.1%	14-15時	0.4%	0.2%	17-18時	0.5%	0.1%	18-19時	0.3%	0.5%	22-23時	※1.2%	0.9%	23-24時	0.0%
全年代	時間	65歳以上																																	
0.0%	7-8時	0.3%																																	
0.0%	8-9時	0.0%																																	
0.2%	11-12時	0.6%																																	
0.2%	12-13時	0.3%																																	
0.1%	13-14時	0.4%																																	
0.1%	14-15時	0.4%																																	
0.2%	17-18時	0.5%																																	
0.1%	18-19時	0.3%																																	
0.5%	22-23時	※1.2%																																	
0.9%	23-24時	0.0%																																	

・つまずき等の発生事例の分析

	最も多い	次に多い	その他
事象	ふらつき（82人）	立ち止まり（42人）	次いで「つまずき（39人）」、「その他（17人）」の順に多く、「衝突（5人）」が最も少ない。
発生場所	乗り口（126人）	降り口（35人）	事象別に発生場所を見ると、「乗り口のふらつき」が最も多い。
発生時の行動	乗車時（84人）	降車時（33人）	事象別に発生時の行動を見ると、「乗車時の立ち止まり」が最も多い。

酩酊者によるもの	<ul style="list-style-type: none"> 観測したつまずき等の発生者のうち「約1割」が酩酊者 つまずき等が発生した酩酊者の約9割が「一般（6～64歳）」 全て「駅」で発生し、時間帯は「22～23時」が最多、「23～24時」が次点 事象は「ふらつき」が多い 発生場所は「乗り口」が多く、発生時の行動は「静止中」と「乗車時」が多い
----------	--

第1 目的

エスカレーターの利用状況及び利用時のつまずき等の発生状況を把握するため、都内のエスカレーターにおいて利用者の観測調査を実施した。

第2 調査内容

推定年代別の利用者数や事故につながる可能性がある利用時のつまずき等の発生者数等を、人手により観測した。

1 調査対象及び調査日

調査対象は、都内の駅、商業施設に設置されているエスカレーター¹とし、場所、運転速度、運転方向が異なる計21台で調査を行った。調査日数は、1台につき1日とし、令和7年11月から令和8年2月の間に実施した。調査対象及び調査日の詳細は、表1のとおり。なお、調査日の天気は、晴れ又は曇りであった。

表1 調査対象及び調査日

	調査対象			調査日		
	施設区分	運転速度 (定格速度)	運転方向	整理番号	実施月	実施日
1	駅	40m/分	上り	駅高速 U1	2025年11月	平日
2				駅高速 U2	2025年11月	平日
3				駅高速 U3	2025年12月	平日
4		30m/分	上り	駅標準 U1	2025年12月	平日
5				駅標準 U2	2025年12月	平日
6				駅標準 U3	2026年1月	平日
7			下り	駅標準 D1	2025年12月	平日
8				駅標準 D2	2025年12月	平日
9				駅標準 D3	2025年12月	平日
10	商業施設	30m/分	上り	商標準 U1	2026年1月	休日
11				商標準 U2	2026年2月	平日
12			下り	商標準 D1	2026年1月	休日
13				商標準 D2	2026年1月	平日
14		25m/分	上り	商中速 U1	2026年1月	平日
15				商中速 U2	2026年2月	平日
16			下り	商中速 D1	2026年1月	平日
17				商中速 D2	2026年1月	平日
18		20m/分	上り	商低速 U1	2026年1月	休日
19				商低速 U2	2026年1月	休日
20	下り		商低速 D1	2026年1月	休日	
21		商低速 D2	2026年1月	休日		

※一部の駅、商業施設では、同一施設内にある複数台のエスカレーターにおいて調査を実施した。

※本調査では利用時のつまずき等の観測を行うため、乗降時及び乗車中の利用者を視認できる観測場所をエスカレーター一周辺に確保できるところを、調査対象として選定した。

※実施日は、平日の場合は祝日を除く月曜から金曜、休日の場合は土曜・日曜・祝日のいずれかの日に実施した。

¹ 東京消防庁管内のエスカレーター関連救急事故は「道路・交通施設（駅、空港、バスターミナル等）」及び「店舗・遊戯施設等（百貨店、ショッピングセンター、スーパー等）」で多く発生していた（第1回東京都商品等安全対策協議会、資料1参照）ため、調査場所は「駅」及び「商業施設」とした。

2 観測時間

駅は1箇所あたり計10時間、商業施設は1箇所あたり計6時間の観測を行った。観測時間の詳細は、表2のとおり。

表2 観測時間

	駅	商業施設
観測時間	2時間×5回 計10時間	2時間×3回 計6時間
	7:00～9:00 (朝)	
	11:00～13:00 (昼)	11:00～13:00 (昼)
	13:00～15:00 (昼過ぎ)	13:00～15:00 (昼過ぎ)
	17:00～19:00 (夜)	17:00～19:00 (夜)
	22:00～24:00 (深夜)	

※「駅高速U3」は、調査中にエスカレーターの臨時点検が行われたため、「11:00～13:00(昼)」及び「13:00～15:00(昼過ぎ)」の観測時間を15分ずらし「11:15～13:15(昼)」及び「13:15～15:15(昼過ぎ)」に観測を実施した。なお、観測結果は、15分繰り上げた時間帯のデータとして扱い集計を行った(例:11:15～12:15の観測結果は11:00～12:00のデータとして集計)。

3 調査項目及び観測方法

(1) 利用者数

表3に示す「推定年代」及び「歩行等の有無(利用状態)」別に、利用者数をカウントした。観測は、調査員1名をエスカレーター周辺に配置して実施した。

表3 利用者数の区分

推定年代	歩行等の有無(利用状態)
5歳以下 (未就学児)	無(立ち止まって利用)
	有(歩行又は走行して利用)
6～64歳 (一般)	無(立ち止まって利用)
	有(歩行又は走行して利用)
65歳以上 (高齢者)	無(立ち止まって利用)
	有(歩行又は走行して利用)

※歩行等の有無については、利用者がエスカレーター中間部分の任意地点を通過する際の状態により判別した。

(2) つまずき等の発生者数等

事故につながる可能性があると考えられる「つまずき、ふらつき、立ち止まり、衝突」等の事象が確認された利用者を、推定年代別にカウントした。また、事象の発生場所、発生時の状況等についても、観察できた範囲で記録した。観測は、調査員複数名をエスカレーター周辺に配置して実施した。

第3 観測結果

都内の駅、商業施設に設置されているエスカレーター21台において、延べ162時間の調査を行った結果、121538人の利用者と、185人のつまずき等の発生を観測した。

「利用者数」の観測結果を「表4」に、「つまずき等の発生者数」の観測結果を「表5」に示す。※観測結果の詳細は別添資料を参照。

表4 都内のエスカレーターにおける利用者数の観測結果

施設区分	運転速度	運転方向	調査台数	総観測時間	5歳以下 (未就学児)		6～64歳 (一般)		65歳以上 (高齢者)		合計 (全年代)		5歳以下 (未就学児)	6～64歳 (一般)	65歳以上 (高齢者)	合計 (全年代)
					歩行等あり	歩行等なし	歩行等あり	歩行等なし	歩行等あり	歩行等なし	歩行等あり	歩行等なし				
駅	40 m/分	上り	3台	30時間	1	35	7517	21567	132	1019	7650	22621	36	29084	1151	30271
					0.0%	0.1%	24.8%	71.2%	0.4%	3.4%	25.3%	74.7%	0.1%	96.1%	3.8%	100.0%
	30 m/分	上り	3台	30時間	12	46	10965	25573	505	2122	11482	27741	58	36538	2627	39223
		下り	3台	30時間	0	21	4946	9776	206	1213	5152	11010	21	14722	1419	16162
					0.0%	0.1%	30.6%	60.5%	1.3%	7.5%	31.9%	68.1%	0.1%	91.1%	8.8%	100.0%
商業施設	30 m/分	上り	2台	12時間	3	62	144	3125	13	922	160	4109	65	3269	935	4269
					0.1%	1.5%	3.4%	73.2%	0.3%	21.6%	3.7%	96.3%	1.5%	76.6%	21.9%	100.0%
		下り	2台	12時間	0	76	329	2897	42	931	371	3904	76	3226	973	4275
					0.0%	1.8%	7.7%	67.8%	1.0%	21.8%	8.7%	91.3%	1.8%	75.5%	22.8%	100.0%
	25 m/分	上り	2台	12時間	0	24	171	4918	7	986	178	5928	24	5089	993	6106
					0.0%	0.4%	2.8%	80.5%	0.1%	16.1%	2.9%	97.1%	0.4%	83.3%	16.3%	100.0%
	下り	2台	12時間	1	16	422	3795	77	1428	500	5239	17	4217	1505	5739	
				0.0%	0.3%	7.4%	66.1%	1.3%	24.9%	8.7%	91.3%	0.3%	73.5%	26.2%	100.0%	
20 m/分	上り	2台	12時間	22	475	202	5208	5	345	229	6028	497	5410	350	6257	
				0.4%	7.6%	3.2%	83.2%	0.1%	5.5%	3.7%	96.3%	7.9%	86.5%	5.6%	100.0%	
	下り	2台	12時間	7	567	228	7409	24	1001	259	8977	574	7637	1025	9236	
				0.1%	6.1%	2.5%	80.2%	0.3%	10.8%	2.8%	97.2%	6.2%	82.7%	11.1%	100.0%	
全体			21台	162時間	46	1322	24924	84268	1011	9967	25981	95557	1368	109192	10978	121538
					0.0%	1.1%	20.5%	69.3%	0.8%	8.2%	21.4%	78.6%	1.1%	89.8%	9.0%	100.0%

※「歩行等あり」は走行者を含む。

表5 都内のエスカレーターにおけるつまずき等の発生者数の観測結果

施設 区分	運転 速度	運転 方向	5歳以下 (未就学児)					6～64歳 (一般)					65歳以上 (高齢者)					合計 (全年代)					合計 (全年代)
			つま ずき	ふ ら つき	立 ち 止 まり	衝 突	そ の 他	つま ずき	ふ ら つき	立 ち 止 まり	衝 突	そ の 他	つま ずき	ふ ら つき	立 ち 止 まり	衝 突	そ の 他	つま ずき	ふ ら つき	立 ち 止 まり	衝 突	そ の 他	
駅	40m/分	上り	0	0	0	0	0	5	10	3	0	3	1	1	0	0	0	6	11	3	0	3	23
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.7%	43.5%	13.0%	0.0%	13.0%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	26.1%	47.8%	13.0%	0.0%	13.0%	100.0%
	30m/分	上り	1	1	0	0	0	9	25	7	2	5	4	5	5	2	0	14	31	12	4	5	66
			1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	37.9%	10.6%	3.0%	7.6%	6.1%	7.6%	7.6%	3.0%	0.0%	21.2%	47.0%	18.2%	6.1%	7.6%	100.0%
		下り	0	0	0	0	0	2	6	3	0	1	0	0	6	0	0	2	6	9	0	1	18
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	16.7%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	33.3%	50.0%	0.0%	5.6%	100.0%
商業 施設	30m/分	上り	0	1	0	0	0	1	6	2	0	0	0	3	1	0	0	1	10	3	0	0	14
			0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	71.4%	21.4%	0.0%	0.0%	100.0%
		下り	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	2	0	0	0	2	3	0	1	6
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	100.0%
	25m/分	上り	0	0	0	0	0	8	5	0	1	1	2	6	2	0	0	10	11	2	1	1	25
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	32.0%	20.0%	0.0%	4.0%	4.0%	8.0%	24.0%	8.0%	0.0%	0.0%	40.0%	44.0%	8.0%	4.0%	4.0%	100.0%
		下り	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	3
			0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20m/分	上り	1	1	0	0	2	2	5	1	0	3	0	0	0	0	0	3	6	1	0	5	15
			6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	13.3%	33.3%	6.7%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	6.7%	0.0%	33.3%	100.0%
		下り	1	1	5	0	0	1	1	3	0	1	0	1	1	0	0	2	3	9	0	1	15
			6.7%	6.7%	33.3%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%	20.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	13.3%	20.0%	60.0%	0.0%	6.7%	100.0%
全体			3	5	5	0	2	28	59	20	3	15	8	18	17	2	0	39	82	42	5	17	185
			1.6%	2.7%	2.7%	0.0%	1.1%	15.1%	31.9%	10.8%	1.6%	8.1%	4.3%	9.7%	9.2%	1.1%	0.0%	21.1%	44.3%	22.7%	2.7%	9.2%	100.0%
			15					125					45					185	185				
			8.1%					67.6%					24.3%					100.0%	100.0%				

※つまずき等の定義

- つまずき : 乗降口の段差や階段の蹴上げ部分等につまずいて、比較的大きくバランスを崩したものの
- ふらつき : 乗降時や乗車中にふらついたり、よろけたりして、比較的大きくバランスを崩したものの
- 立ち止まり : 乗降時にためらうなどして、乗降口付近で立ち止まったものの
- 衝突 : 乗降時及び乗車中に人や物に衝突して、又は衝突されて、比較的大きくバランスを崩したものの
- その他 : 逆走、踏み外し 等

第4 利用状況

利用者数の観測結果を基に整理した利用状況は、以下のとおり。

1 利用者数

(1) 施設区分別の利用者数

都内のエスカレーターにおける施設区分別の利用者数を、表6に示す。

主な傾向は、次のとおり。

- ・ 駅は、商業施設と比べると「時間当たりの利用者数」が多い。
- ・ 商業施設は、駅と比べると「未就学児」及び「高齢者」の利用割合が高い。

※駅では全て（9台）を平日に調査した一方、商業施設では半数（12台中6台）を休日（土日祝）に調査した。このため、商業施設における「未就学児」等の利用割合が駅と比較して高くなった可能性がある。

表6 施設区分別 都内のエスカレーターにおける利用者数

	駅 (計9台観測)		商業施設 (計12台観測)	
	利用者数	構成比	利用者数	構成比
5歳以下（未就学児）	115	0.1%	1253	3.5%
6～64歳（一般）	80344	93.8%	28848	80.4%
65歳以上（高齢者）	5197	6.1%	5781	16.1%
合計（全年代）	85656	100.0%	35882	100.0%
総観測時間	90 時間		72 時間	
時間当たりの利用者数（全年代）	951.7 人 / 時間		498.4 人 / 時間	

(2) 時間帯別の利用者数

都内のエスカレーターにおける時間帯別の利用者数を、表7-1、表7-2に示す。

ア 駅における主な傾向

[全年代]

- ・調査を実施した時間帯（7～9時、11～15時、17～19時、22～24時）の中では、「7～9時（通勤・通学の時間帯）」の利用者が最も多く、次いで「17～19時（帰宅の時間帯）」が多い。

[推定年代別]

- ・「高齢者」は、全年代とは異なる傾向を示し、「7～9時（通勤・通学の時間帯）」の利用者が少なく、「11～13時、14～15時、17～18時」の利用者が多い。

イ 商業施設における主な傾向

[全年代]

- ・調査を実施した時間帯（11～15時、17～19時）の中では、利用者数に多少の変動はあるものの、突出して利用者が多い時間帯はない。

[推定年代別]

- ・「未就学児」及び「高齢者」は、「17～19時」と比べると、「11～15時」の利用者が比較的多い。

表7-1 時間帯別 都内の駅のエスカレーターにおける利用者数

駅 (計9台観測)	5歳以下 (未就学児)			6～64歳 (一般)			65歳以上 (高齢者)			合計 (全年代)			
	利用者数	1台当たりの利用者数	構成比	利用者数	1台当たりの利用者数	構成比	利用者数	1台当たりの利用者数	構成比	利用者数	1台当たりの利用者数	構成比	
朝	7-8時	7	0.7	6.1%	13086	1308.6	16.3%	353	35.3	6.8%	13446	1344.6	15.7%
	8-9時	20	2.0	17.4%	17008	1700.8	21.2%	514	51.4	9.9%	17542	1754.2	20.5%
昼	11-12時	14	1.4	12.2%	5845	584.5	7.3%	898	89.8	17.3%	6757	675.7	7.9%
	12-13時	19	1.9	16.5%	6920	692.0	8.6%	676	67.6	13.0%	7615	761.5	8.9%
昼過ぎ	13-14時	8	0.8	7.0%	5910	591.0	7.4%	534	53.4	10.3%	6452	645.2	7.5%
	14-15時	11	1.1	9.6%	5650	565.0	7.0%	674	67.4	13.0%	6335	633.5	7.4%
夜	17-18時	16	1.6	13.9%	9625	962.5	12.0%	850	85.0	16.4%	10491	1049.1	12.2%
	18-19時	17	1.7	14.8%	10026	1002.6	12.5%	456	45.6	8.8%	10499	1049.9	12.3%
深夜	22-23時	2	0.2	1.7%	3625	362.5	4.5%	162	16.2	3.1%	3789	378.9	4.4%
	23-24時	1	0.1	0.9%	2649	264.9	3.3%	80	8.0	1.5%	2730	273.0	3.2%
合計		115	11.5	100.0%	80344	8034.4	100.0%	5197	519.7	100.0%	85656	8565.6	100.0%

表7-2 時間帯別 都内の商業施設のエスカレーターにおける利用者数

商業施設 (計12台観測)	5歳以下 (未就学児)			6～64歳 (一般)			65歳以上 (高齢者)			合計 (全年代)			
	利用者数	1台当たりの利用者数	構成比	利用者数	1台当たりの利用者数	構成比	利用者数	1台当たりの利用者数	構成比	利用者数	1台当たりの利用者数	構成比	
昼	11-12時	250	20.8	20.0%	3743	311.9	13.0%	990	82.5	17.1%	4983	415.3	13.9%
	12-13時	267	22.3	21.3%	4717	393.1	16.4%	974	81.2	16.8%	5958	496.5	16.6%
昼過ぎ	13-14時	177	14.8	14.1%	4759	396.6	16.5%	1192	99.3	20.6%	6128	510.7	17.1%
	14-15時	257	21.4	20.5%	5129	427.4	17.8%	1199	99.9	20.7%	6585	548.8	18.4%
夜	17-18時	201	16.8	16.0%	5255	437.9	18.2%	828	69.0	14.3%	6284	523.7	17.5%
	18-19時	101	8.4	8.1%	5245	437.1	18.2%	598	49.8	10.3%	5944	495.3	16.6%
合計		1253	104.4	100.0%	28848	2404.0	100.0%	5781	481.8	100.0%	35882	2990.2	100.0%

2 歩行等の有無

(1) 施設区別の歩行等の有無

都内のエスカレーターにおける施設区別の歩行等の有無を、表8に示す。

ア 駅における主な傾向

[全年代]

- ・商業施設と比べると、歩行者率が高い(約28%)。

[推定年代別]

- ・未就学児は、一般(6~64歳)や高齢者と比べると、歩行者率が低い(約11%)。
- ・一般は、高齢者や未就学児と比べると、歩行者率が高い(約29%)。
- ・高齢者の歩行者率は、一般の半分程度(約16%)。

イ 商業施設における主な傾向

[全年代]

- ・駅と比べると、歩行者率が低い(約5%)。

[推定年代別]

- ・年代による差は小さく、いずれの年代でも歩行者率は低い(約3~5%)。

表8 施設区別 都内のエスカレーターにおける歩行等の有無

		駅 (計9台観測)	商業施設 (計12台観測)
5歳以下 (未就学児)	歩行等あり	13	33
	歩行等なし	102	1220
	歩行者率	11.3%	2.6%
6~64歳 (一般)	歩行等あり	23428	1496
	歩行等なし	56916	27352
	歩行者率	29.2%	5.2%
65歳以上 (高齢者)	歩行等あり	843	168
	歩行等なし	4354	5613
	歩行者率	16.2%	2.9%
合計 (全年代)	歩行等あり	24284	1697
	歩行等なし	61372	34185
	歩行者率	28.4%	4.7%

(2) 時間帯別の歩行等の有無

都内のエスカレーターにおける時間帯別の歩行等の有無を、表9-1、表9-2に示す。

ア 駅における主な傾向

[全年代]

- ・調査を実施した時間帯（7～9時、11～15時、17～19時、22～24時）の中では、「7～9時（通勤・通学の時間帯）」の歩行者率が最も高く（約44～46%）、次いで「17～19時（帰宅の時間帯）」が高い（約26～27%）。
- ・歩行者率が高い時間帯は、駅において利用者数が多かった時間帯と一致する。

[推定年代別]

- ・「未就学児」は、全年代とは異なる傾向を示し、「17～19時」の歩行者率が低い。

イ 商業施設における主な傾向

[全年代]

- ・調査を実施した時間帯（11～15時、17～19時）の中では、多少の変動はあるものの、突出して歩行者率が高い時間帯は無い。

[推定年代別]

- ・年代による差は小さくなく、突出して歩行者率が高い時間帯は無い。

表9-1 時間帯別 都内の駅のエスカレーターにおける歩行等の有無

駅		5歳以下 (未就学児)			6～64歳 (一般)			65歳以上 (高齢者)			合計 (全年代)		
		歩行等 あり	歩行等 なし	歩行者率	歩行等 あり	歩行等 なし	歩行者率	歩行等 あり	歩行等 なし	歩行者率	歩行等 あり	歩行等 なし	歩行者率
朝	7-8時	1	6	14.3%	5878	7208	44.9%	91	262	25.8%	5970	7476	44.4%
	8-9時	6	12	33.3%	5853	6773	46.4%	130	292	30.8%	5989	7077	45.8%
昼	11-12時	1	13	7.1%	1244	4601	21.3%	98	800	10.9%	1343	5414	19.9%
	12-13時	2	17	10.5%	1432	5488	20.7%	73	603	10.8%	1507	6108	19.8%
昼過ぎ	13-14時	1	7	12.5%	1159	4751	19.6%	50	484	9.4%	1210	5242	18.8%
	14-15時	0	11	0.0%	915	4735	16.2%	62	612	9.2%	977	5358	15.4%
夜	17-18時	0	16	0.0%	2484	7141	25.8%	200	650	23.5%	2684	7807	25.6%
	18-19時	1	16	5.9%	2681	7345	26.7%	98	358	21.5%	2780	7719	26.5%
深夜	22-23時	0	2	0.0%	725	2900	20.0%	26	136	16.0%	751	3038	19.8%
	23-24時	0	1	0.0%	511	2138	19.3%	12	68	15.0%	523	2207	19.2%
合計		12	101	10.6%	22882	53080	30.1%	840	4265	16.5%	23734	57446	29.2%

※駅高速U3のエスカレーターは、8～9時の時間帯に、駅員による声掛けが行われ、「歩行等なし」が非常に多い観測結果であった。一方、その他の調査駅では駅員等による声掛けの実施はなかった。このため、駅高速U3の8～9時における観測データ（4476人〔内訳：歩行等あり550人・歩行等なし3926人（歩行者率12.3%）〕）は集計から除外している。

表9-2 時間帯別 都内の商業施設のエスカレーターにおける歩行等の有無

商業施設		5歳以下 (未就学児)			6～64歳 (一般)			65歳以上 (高齢者)			合計 (全年代)		
		歩行等 あり	歩行等 なし	歩行者率	歩行等 あり	歩行等 なし	歩行者率	歩行等 あり	歩行等 なし	歩行者率	歩行等 あり	歩行等 なし	歩行者率
昼	11-12時	7	243	2.8%	221	3522	5.9%	34	956	3.4%	262	4721	5.3%
	12-13時	6	261	2.2%	289	4428	6.1%	24	950	2.5%	319	5639	5.4%
昼過ぎ	13-14時	5	172	2.8%	196	4563	4.1%	25	1167	2.1%	226	5902	3.7%
	14-15時	7	250	2.7%	209	4920	4.1%	29	1170	2.4%	245	6340	3.7%
夜	17-18時	5	196	2.5%	264	4991	5.0%	23	805	2.8%	292	5992	4.6%
	18-19時	3	98	3.0%	317	4928	6.0%	33	565	5.5%	353	5591	5.9%
合計		33	1220	2.6%	1496	27352	5.2%	168	5613	2.9%	1697	34185	4.7%

第5 つまづき等の発生状況

つまづき等の発生者数の観測結果等を基に整理したつまづき等の発生状況は、以下のとおり。

1 つまづき等の発生率

(1) 推定年代別のつまづき等の発生率

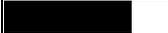
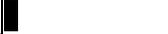
都内のエスカレーターにおける推定年代別のつまづき等の発生率を、表10に示す。

主な傾向は、次のとおり。

- ・「未就学児」及び「高齢者」は、一般（6～64歳）と比べると、つまづき等の発生率が高い。

※利用者数が少ない場合、つまづき等の発生者数のわずかな変動によって、発生率が大きく変化する。このため、観測できた利用者数が少ない項目（未就学児等）については、算出されたつまづき等の発生率が実際とは異なる可能性がある。

表10 推定年代別 都内のエスカレーターにおけるつまづき等の発生率

	つまづき等 発生者数	利用者数	つまづき等 発生率	
5歳以下（未就学児）	15	1368	1.1%	
6～64歳（一般）	125	109192	0.1%	
65歳以上（高齢者）	45	10978	0.4%	
合計（全年代）	185	121538	0.2%	

(2) 時間帯別のつまずき等の発生率

都内のエスカレーターにおける時間帯別のつまずき等の発生率を、表11に示す。
 主な傾向は、次のとおり。

[全年代]

- ・調査を実施した時間帯（7～9時、11～15時、17～19時、22～24時）の中では、「22～24時」の発生率が高い。
- ・駅において「利用者数が多く歩行者率が高かった時間帯（7～9時、17～19時）」の発生率は低い。

[推定年代別]

- ・「高齢者」は、全年代と比べると、「11～12時、13～15時、17～18時」の発生率が高い。また、この発生率が高い時間帯は、駅又は商業施設において「高齢者の利用者数が多かった時間帯」と概ね一致する。

表11 時間帯別 都内のエスカレーターにおけるつまずき等の発生率

全体	5歳以下 (未就学児)			6～64歳 (一般)			65歳以上 (高齢者)			合計 (全年代)			
	つまずき等 発生者数	利用者数	つまずき等 発生率	つまずき等 発生者数	利用者数	つまずき等 発生率	つまずき等 発生者数	利用者数	つまずき等 発生率	つまずき等 発生者数	利用者数	つまずき等 発生率	
朝	7-8時	0	7	0.0%	5	13086	0.0%	1	353	0.3%	6	13446	0.0%
	8-9時	1	20	5.0%	7	17008	0.0%	0	514	0.0%	8	17542	0.0%
昼	11-12時	2	264	0.8%	12	9588	0.1%	12	1888	0.6%	26	11740	0.2%
	12-13時	5	286	1.7%	14	11637	0.1%	5	1650	0.3%	24	13573	0.2%
昼過ぎ	13-14時	0	185	0.0%	9	10669	0.1%	7	1726	0.4%	16	12580	0.1%
	14-15時	4	268	1.5%	8	10779	0.1%	7	1873	0.4%	19	12920	0.1%
夜	17-18時	1	217	0.5%	20	14880	0.1%	8	1678	0.5%	29	16775	0.2%
	18-19時	2	118	1.7%	9	15271	0.1%	3	1054	0.3%	14	16443	0.1%
深夜	22-23時	0	2	0.0%	17	3625	0.5%	2	162	1.2%	19	3789	0.5%
	23-24時	0	1	0.0%	24	2649	0.9%	0	80	0.0%	24	2730	0.9%
合計	15	1368	1.1%	125	109192	0.1%	45	10978	0.4%	185	121538	0.2%	

※「着色部分（薄）」は、観測できた利用者数が比較的小さいため、つまずき等の発生率が実際とは異なる可能性がある。

※「着色部分（濃）」は、観測できた利用者数が非常に少なく、つまずき等の発生率が実際よりも高く出ている可能性があるため、データバー（棒グラフ）の最大値の対象から除外している（データバーは、最大値2.0%で作成）。

(3) 施設区分別等のつまずき等の発生率

都内のエスカレーターにおけるつまずき等の発生率を、施設区分、運転方向、運転速度、揚程、エレベーターまでの距離別に算出したものを、表12に示す。

観測できた利用者数が比較的少ない項目（実際とは異なるつまずき等の発生率が出ている可能性があるもの）を除くと、区分による差は小さくなく、顕著な傾向は見いだせなかった。

表12 施設区分別等 都内のエスカレーターにおけるつまずき等の発生率

		5歳以下 (未就学児)			6～64歳 (一般)			65歳以上 (高齢者)			合計 (全年代)		
		つまずき等 発生者数	利用者数	つまずき等 発生率	つまずき等 発生者数	利用者数	つまずき等 発生率	つまずき等 発生者数	利用者数	つまずき等 発生率	つまずき等 発生者数	利用者数	つまずき等 発生率
施設区分	駅	2	115	1.7%	81	80344	0.1%	24	5197	0.5%	107	85656	0.1%
	商業施設	13	1253	1.0%	44	28848	0.2%	21	5781	0.4%	78	35882	0.2%
運転方向	上り	7	680	1.0%	104	79390	0.1%	32	6056	0.5%	143	86126	0.2%
	下り	8	688	1.2%	21	29802	0.1%	13	4922	0.3%	42	35412	0.1%
運転速度 (定格速度)	40 m/分	0	36	0.0%	21	29084	0.1%	2	1151	0.2%	23	30271	0.1%
	30 m/分	3	220	1.4%	72	57755	0.1%	29	5954	0.5%	104	63929	0.2%
	25 m/分	1	41	2.4%	15	9306	0.2%	12	2498	0.5%	28	11845	0.2%
	20 m/分	11	1071	1.0%	17	13047	0.1%	2	1375	0.1%	30	15493	0.2%
揚程 (高低差)	約 8 m	0	9	0.0%	9	7151	0.1%	5	540	0.9%	14	7700	0.2%
	約 7 m	1	33	3.0%	36	24332	0.1%	6	1977	0.3%	43	26342	0.2%
	約 6 m	12	1130	1.1%	38	41087	0.1%	7	3475	0.2%	57	45692	0.1%
	約 5 m	1	178	0.6%	35	24459	0.1%	23	3909	0.6%	59	28546	0.2%
	約 4 m	1	18	5.6%	7	12163	0.1%	4	1077	0.4%	12	13258	0.1%
エレベーター までの距離 ※	50 m 以上	2	67	3.0%	25	25148	0.1%	9	2024	0.4%	36	27239	0.1%
	40-49 m	3	221	1.4%	11	6612	0.2%	2	862	0.2%	16	7695	0.2%
	30-39 m	1	397	0.3%	20	24543	0.1%	9	2669	0.3%	30	27609	0.1%
	20-29 m	8	624	1.3%	11	13073	0.1%	5	2910	0.2%	24	16607	0.1%
	10-19 m	1	33	3.0%	48	25647	0.2%	13	1768	0.7%	62	27448	0.2%
	10 m 未満	0	26	0.0%	10	14169	0.1%	7	745	0.9%	17	14940	0.1%

※「エレベーターまでの距離」は、エスカレーターの乗り口から最寄りのエレベーター乗降口までの歩行距離を測定したもの。

※「着色部分」は、観測できた利用者数が比較的少ないため、つまずき等の発生率が実際とは異なる可能性がある。

2 つまづき等の発生事例の分析

(1) 事象別の発生者数及び発生事例

都内のエスカレーターにおいて観測した事故につながる可能性があると考えられるつまづき等の発生者数を「事象別」に集計したものを、表13-1に示す。また、事象別の主な発生事例を、表13-2に示す。

主な傾向は、次のとおり。

[全年代]

- ・事象（つまづき、ふらつき、立ち止まり、衝突、その他の5分類）の中では、「ふらつき」が最も多く、次いで「立ち止まり」、「つまづき」、「その他」の順に多く、「衝突」が最も少ない。

[推定年代別]

- ・未就学児は、「ふらつき」と「立ち止まり」の両方が多い。
- ・一般（6～64歳）は、「ふらつき」が最も多く、次いで「つまづき」が多い。
- ・高齢者は、「ふらつき」と「立ち止まり」の両方が多い。

表13-1 事象別 つまづき等の発生者数

	5歳以下 (未就学児)		6～64歳 (一般)		65歳以上 (高齢者)		合計 (全年代)	
	発生者数	構成比	発生者数	構成比	発生者数	構成比	発生者数	構成比
つまづき	3	20.0%	28	22.4%	8	17.8%	39	21.1%
ふらつき	5	33.3%	59	47.2%	18	40.0%	82	44.3%
立ち止まり	5	33.3%	20	16.0%	17	37.8%	42	22.7%
衝突	0	0.0%	3	2.4%	2	4.4%	5	2.7%
その他	2	13.3%	15	12.0%	0	0.0%	17	9.2%
合計	15	100.0%	125	100.0%	45	100.0%	185	100.0%

※つまづき等の定義

つまづき : 乗降口の段差や階段の蹴上げ部分等につまづいて、比較的大きくバランスを崩したもの

ふらつき : 乗降時や乗車中にふらついたり、よろけたりして、比較的大きくバランスを崩したもの

立ち止まり : 乗降時にためらうなどして、乗降口付近で立ち止まったもの

衝突 : 乗降時及び乗車中に人や物に衝突して、又は衝突されて、比較的大きくバランスを崩したもの

その他 : 逆走、踏み外し等

表 13-2 事象別 つまづき等の主な発生事例

事象	施設区分	運転速度 運転方向	推定年代	発生場所	発生時の行動	詳細
つまづき	駅	30m/分 上り	65歳以上 (高齢者)	乗り口	乗車時	乗車口でつまづき、前のめりになった。転倒しそうになったが、何とか体勢を立て直し、そのまま乗車した。
つまづき	商業施設	25m/分 上り	65歳以上 (高齢者)	降り口	降車時	降車時に最後の1段の手前に爪先が当たり、つまづくも何とか持ち直し、転倒はせずにそのまま降車した。
つまづき	駅	30m/分 下り	6~64歳 (一般)	乗り口	乗車時	乗車のタイミングが合わなかったようで、乗り口でつまづいたが、すぐに体勢を立て直し乗車した。
つまづき	駅	40m/分 上り	6~64歳 (一般)	階段上	歩行中	歩いて上っていた時につまづいた。
つまづき	商業施設	20m/分 下り	6~64歳 (一般)	降り口	降車時	降り口の段差でつまづいたが、そのまま降車した。
つまづき	商業施設	20m/分 下り	5歳以下 (未就学児)	乗り口	乗車時	乗車するもつまづいて、前のめりに転びそうになった。同伴の父親が手をつなぎ体勢を持ち直した。
ふらつき	駅	40m/分 上り	65歳以上 (高齢者)	階段上	静止中	立ち止まって乗っていたが、エスカレーターの間付近でふらつき、手すりにつかまった。
ふらつき	商業施設	30m/分 上り	65歳以上 (高齢者)	乗り口	乗車時	エスカレーターに左足を乗せた時、スピードに合わずふらつき右足をあわてて乗せた。
ふらつき	駅	30m/分 上り	65歳以上 (高齢者)	乗り口	乗車時	乗り口で階段の境目に乗ったため、段差ができた時にふらつき、半歩下がった。
ふらつき	駅	40m/分 上り	6~64歳 (一般)	乗り口	静止中	乗った後間もなく、エスカレーターの踏段が平面から段に変わる辺りでふらついた。
ふらつき	駅	40m/分 上り	6~64歳 (一般)	乗り口	静止中	段差の間に足を置いていたため、段差が上がった際にふらついた。
ふらつき	駅	30m/分 下り	6~64歳 (一般)	乗り口	静止中	静止して乗車中、バランスを崩し、両手で両方の手すりを掴んだ。
ふらつき	駅	40m/分 上り	6~64歳 (一般)	乗り口	乗車時	エスカレーターに乗った瞬間バランスを崩した。
ふらつき	商業施設	25m/分 上り	6~64歳 (一般)	乗り口	乗車時	乗り口付近で大股で乗り込もうとしてバランスを崩した。
ふらつき	駅	30m/分 上り	6~64歳 (一般)	乗り口	姿勢等 変更中	後ろを振り返った時にバランスを崩し、手すりにつかまった。後ろに同行者が乗車していた。
ふらつき	駅	40m/分 上り	6~64歳 (一般)	降り口	降車時	降り口でキャリーケースを持ち上げた際にふらついた。
ふらつき	駅	30m/分 上り	5歳以下 (未就学児)	乗り口	乗車時	乗車し、2段目あたりでよろめいた。
立ち止まり	駅	30m/分 上り	65歳以上 (高齢者)	乗り口	乗車時	乗車しようとした際に、エスカレーターに乗ることができずに数秒立ち止まり、その後乗車した。
立ち止まり	商業施設	25m/分 上り	65歳以上 (高齢者)	乗り口	乗車時	乗ろうとしたところ、足の踏み入れどころに困り、右往左往していた。
立ち止まり	駅	30m/分 下り	65歳以上 (高齢者)	降り口	降車時	前方の踏段に置いたショッピングカートを手で持ち上げながら降りようとして、少し立ち止まった。
立ち止まり	駅	30m/分 上り	6~64歳 (一般)	乗り口	乗車時	リュックを背負い、左手にレジ袋を持った人が、乗り口で乗るのを数秒ためらった後、乗車した。
立ち止まり	駅	30m/分 上り	6~64歳 (一般)	乗り口	乗車時	スマホを操作していたため、乗る直前にエスカレーターに気づき、少し立ち止まった。
立ち止まり	駅	30m/分 下り	6~64歳 (一般)	乗り口	乗車時	ヒールのある靴を履いた人が、乗車のタイミングが合わず、数秒立ち止まった。
立ち止まり	商業施設	20m/分 下り	5歳以下 (未就学児)	乗り口	乗車時	エスカレーターに乗るのをためらい数秒立ち止まった。同伴者と手をつないで、何とか乗ることができた。
衝突	駅	20m/分 上り	65歳以上 (高齢者)	乗り口	乗車時	下りエスカレーターに誤って乗ろうとしたことに気づき、乗り直そうとした際、手すりにぶつかりふらついた。
衝突	駅	30m/分 上り	6~64歳 (一般)	降り口	歩行中	電車に乗ろうとして、急いでおり、人に接触した。
その他 (逆走)	商業施設	30m/分 上り	6~64歳 (一般)	乗り口	逆走中	3段目くらいまで上った所で、ハンカチを落としたことに気づき、急いで乗り口まで走り下った。
その他 (踏み外し)	駅	30m/分 上り	6~64歳 (一般)	乗り口	姿勢等 変更中	後ろを振り向こうとして、段を踏み外しふらついた。

(2) 発生場所別のつまずき等の発生者数

都内のエスカレーターにおいて観測した事故につながる可能性があると考えられるつまずき等の発生者数を「発生場所別」に集計したものを、表14-1に示す。また、「事象別の発生場所」を集計したものを、表14-2に示す。

ア 発生場所の主な傾向

〔全年代〕

- ・発生場所（3分類）の中では、「乗り口」が最も多く（約7割）、次いで「降り口」が多い（約2割）。

〔推定年代別〕

- ・いずれの年代でも、全年代と似た傾向を示した。

イ 事象別にみた発生場所の主な傾向

〔全体〕

- ・「乗り口のふらつき」が最も多く、次いで「乗り口の立ち止まり」が多い。

〔事象別〕

- ・つまずきは、「乗り口」と「降り口」の発生が多い。
- ・ふらつきは、「乗り口」の発生が多い。
- ・立ち止まりは、「乗り口」の発生が多い。

※階段上は、乗降口と比較するとつまずき等の観測が難しいため、「階段上」の発生者数が実際よりも少ない可能性がある。

表14-1 発生場所別 つまずき等の発生者数

	5歳以下 (未就学児)		6~64歳 (一般)		65歳以上 (高齢者)		合計 (全年代)	
	発生者数	構成比	発生者数	構成比	発生者数	構成比	発生者数	構成比
乗り口	8	53.3%	85	68.0%	33	73.3%	126	68.1%
降り口	3	20.0%	23	18.4%	9	20.0%	35	18.9%
階段上	4	26.7%	17	13.6%	3	6.7%	24	13.0%

※発生場所の定義

乗り口：固定床 及び 乗り口付近の階段上（水平部分及び水平から傾斜に変化する部分）

降り口：固定床 及び 降り口付近の階段上（傾斜から水平に変化する部分及び水平部分）

階段上：傾斜部分の階段上

表14-2 事象別の発生場所 つまずき等の発生者数

	つまずき	ふらつき	立ち止まり	衝突	その他	合計
乗り口	15	61	37	1	12	126
降り口	16	12	5	1	1	35
階段上	8	9	0	3	4	24
合計	39	82	42	5	17	185

(3) 発生時の行動別のつまずき等の発生者数

都内のエスカレーターにおいて観測した事故につながる可能性があると考えられるつまずき等の発生者数を「発生時の行動別」に集計したものを、表15-1に示す。また、「事象別の発生時の行動」を集計したものを、表15-2に示す。

ア 発生時の行動別の主な傾向

〔全年代〕

- ・発生時の行動（7分類）の中、「乗車時」がもっと多く（約5割）、次いで「降車時」が多い（約2割）。

〔推定年代別〕

- ・「高齢者」は、全年代と比べると、「乗車時」に発生する割合が高い。

イ 事象別にみた発生時の行動の主な傾向

〔全体〕

- ・「乗車時の立ち止まり」が最も多く、次いで「乗車時のふらつき」、「静止中のふらつき」が多い。

〔事象別〕

- ・つまずきは、「乗車時」と「降車時」の発生が多い。
- ・ふらつきは、「乗車時」と「静止中」の発生が多い。
- ・立ち止まりは、「乗車時」の発生が多い。

表15-1 発生時の行動別 つまずき等の発生者数

	5歳以下 (未就学児)		6~64歳 (一般)		65歳以上 (高齢者)		合計 (全年代)	
	発生者数	構成比	発生者数	構成比	発生者数	構成比	発生者数	構成比
乗車時	7	46.7%	47	37.6%	30	66.7%	84	45.4%
降車時	3	20.0%	22	17.6%	8	17.8%	33	17.8%
静止中	0	0.0%	27	21.6%	4	8.9%	31	16.8%
姿勢等変更中	2	13.3%	8	6.4%	0	0.0%	10	5.4%
歩行・走行中	3	20.0%	14	11.2%	3	6.7%	20	10.8%
逆走中	0	0.0%	6	4.8%	0	0.0%	6	3.2%
不明	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	1	0.5%

表15-2 事象別の発生時の行動 つまずき等の発生者数

	つまずき	ふらつき	立ち止まり	衝突	その他	合計
乗車時	14	31	37	1	1	84
降車時	15	12	5	0	1	33
静止中	0	29	0	0	2	31
姿勢等変更中	0	7	0	0	3	10
歩行・走行中	10	2	0	4	4	20
逆走中	0	0	0	0	6	6
不明	0	1	0	0	0	1
合計	39	82	42	5	17	185

(4) 酩酊の有無別のつまずき等の発生者数及び発生事例

「22～24時」のつまずき等の発生率が高いことから、酩酊者によるつまずき等が一定数あることが考えられた。このため、つまずき等の発生者数を「酩酊の有無別」で集計したものを「表16-1」に示す。また、つまずき等が発生した酩酊者数を「施設区分別等」で集計したものを「表16-2」に、酩酊者によるつまずき等の「主な発生事例」を「表16-3」に示す。

主な傾向は、次のとおり。

ア 酩酊者率等の主な傾向

- ・観測したつまずき等の発生者のうち「約1割」が酩酊者であった。
- ・つまずき等が発生した酩酊者の約9割が「一般（6～64歳）」であった。

イ 施設区分別等の主な傾向

- ・酩酊者によるつまずき等は、全て「駅」で発生。
- ・時間帯は「22～23時」の発生が最も多く、次いで「23～24時」が多い。
- ・事象は「ふらつき」が多い。
- ・発生場所は「乗り口」が多く、発生時の行動は「静止中」と「乗車時」が多い。

※酩酊の有無は、顔色やふらつき等の外見から推定して判別しているため、「酩酊あり」のつまずき等の発生者数が実際よりも少ない可能性がある。

表16-1 酩酊の有無別 つまずき等の発生者数

	酩酊あり		酩酊なし	酩酊者率	
	数	構成比		数	率
5歳以下（未就学児）	0	0.0%	15	0.0%	
6～64歳（一般）	16	94.1%	109	12.8%	
65歳以上（高齢者）	1	5.9%	44	2.2%	
合計（全年代）	17	100.0%	168	9.2%	

表16-2 施設区分別等 つまずき等が発生した酩酊者数

	施設区分	時間帯	事象	発生場所	発生時の行動	6～64歳（一般）	65歳以上（高齢者）	合計（全年代）	構成比	
						数	率	数	率	数
	駅					16	1	17	100.0%	
	商業施設					0	0	0	0.0%	
		昼過ぎ 14-15時				1	0	1	5.9%	
		深夜	22-23時			9	1	10	58.8%	
			23-24時			6	0	6	35.3%	
			つまずき			2	0	2	11.8%	
			ふらつき			11	1	12	70.6%	
			立ち止まり			1	0	1	5.9%	
			その他			2	0	2	11.8%	
				乗り口		13	1	14	82.4%	
				降り口		1	0	1	5.9%	
				階段上		2	0	2	11.8%	
				乗車時		5	0	5	29.4%	
				降車時		1	0	1	5.9%	
				静止中		6	1	7	41.2%	
				姿勢等変更中		3	0	3	17.6%	
				歩行・走行中		1	0	1	5.9%	

表 16-3 酩酊者によるつまずき等の主な発生事例

事象	施設区分	運転速度 運転方向	推定年代	発生場所	発生時の行動	発生時間帯	詳細
つまずき	駅	30m/分 上り	6~64 歳 (一般)	降り口	降車時	23-24 時	酔った状態で、降車時につまずいた。
ふらつき	駅	30m/分 下り	6~64 歳 (一般)	乗り口	静止中	22-23 時	酔って足元がふらついていた人がバランスを崩し、前に1段滑り落ちた。
ふらつき	駅	30m/分 上り	6~64 歳 (一般)	乗り口	乗車時	14-15 時	缶ビールを飲みながらエスカレーターに乗り込み、後方にフワッとふらついた。
その他 (踏み外し)	駅	30m/分 上り	6~64 歳 (一般)	乗り口	静止中	22-23 時	酔っていて足を踏み外しつまずいたが、倒れなかった。